

若者たちが異業種交流

JAM・Pが労働金庫・総合生協・新潟日報労組と研修



グループで労働法クイズの答えを話し合った

JAM新潟青年協議会(愛称: JAM・P新潟)が、5月13日(日)に新潟市で労働金庫、総合生協、新潟日報の組合青年部と合同で、クロスミーティング2018と題した交流研修会を開催し48人が参加した。

はじめに新潟駅前のゴミ拾いを行った後、それぞれの組合の活動について代表者が紹介した。

その後に行った労働法クイズでは、各組織から選抜された役者が問題のシチュエーションを演じ、グループごとに答えを話し合った。参加者からは「他の組合の人と話し合いながら楽しく学べて、すごくためになった」と笑顔で感想が聞かれた。



小雨の中、新潟駅前のゴミ拾いを行った